

## 指標の達成状況一覧

指 標	指 標 の 概 要	現 状 値	目 標 値	達 成 状 況
確かな学力の育成	全国学力・学習状況調査における標準化得点の教科ごとの平均値	小 国語 103.4 算数 100.0 中 国語 98.6 数学 99.0  (R1年度)	小 国語 100以上 算数 100以上 中 国語 98.9以上 数学 98.6以上  (R3年度)	○
課題の解決に向けた取組	授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う児童生徒の割合	小 75.7% (全国77.7%) 中 73.7% (全国74.8%) (R1年度)	全国平均以上  (R3年度)	○
家庭での学習習慣の定着	学校の授業時間以外に、平日の勉強時間が1時間未満の児童生徒の割合	小35.2% (全国34.0%) 中34.7% (全国30.0%) (R1年度)	全国平均以下  (R3年度)	○
学力向上に関する検証改善サイクルの確立	教育課程の改善を図るためのP D C Aサイクルを確立している学校の割合	小36.3% (全国37.3%) 中33.5% (全国33.9%) (R1年度)	全国平均以上  (R3年度)	○
子どもの体力向上	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点平均値	小男子54.41点 (53.61点) 小女子55.96点 (55.59点) 中男子43.20点 (41.69点) 中女子50.52点 (50.22点) (R1年度)	全区分 全国平均以上  (毎年度)	◎
子どもの運動習慣の定着	学校の体育の授業以外で、週3日以上運動やスポーツをする児童生徒の割合	50.20%  (R1年度)	50.0%  (R1年度)	◎
運動部活動の推進	運動部活動に参加している県立高等学校生徒の割合	47.5%  (R1年度)	50.0%  (毎年度)	△
食に関する指導	朝食を食べる習慣が定着している児童の割合	93.3% (全国平均95.3%)  (R1年度)	全国平均以上  (R3年度)	○
道徳教育の推進	各地域の道徳教育の中核となる小・中学校教員の養成研修修了者数の累計	360人  (R1年度)	360人  (R1年度)	◎
	研修会の講師等として自校以外で活動した道徳教育地域指導者の割合	83.2%  (R1年度)	85%  (毎年度)	○
通学合宿の実施	通学合宿を実施している小学校区数	377校区 /721校区  (R1年度)	361校区 /721校区  (R4年度)	◎
不登校対策	児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数	小7.3人 (全国7.0人) 中41.0人 (全国38.1人) 高20.8人 (全国18.1人) (H30年度)	全国平均以下 (毎年度)	△
	不登校から継続して登校できるようになった児童生徒の割合	小32.5% (全国26.7%) 中33.1% (全国26.4%) 高59.4% (全国38.0%) (H30年度)	小・中学校 全国平均以上 (毎年度)  高等学校 50% (毎年度)	◎  ◎

指 標	指 標 の 概 要	現 状 値	目 標 値	達 成 状 況
いじめの解消率	いじめの認知件数のうち解消した件数の割合	小87.5% (全国84.7%) 中87.1% (全国82.8%) 高72.8% (全国84.8%) (H30年度)	全国平均以上 (毎年度)	△
家庭・地域と連携した規範意識育成	「児童生徒と保護者が共に学ぶ学習会」に参加した保護者の割合	小43.6% 中9.8% (R1年度)	小40.0% 中10.0% (R2年度)	○
小学校と幼稚園等の連携	幼稚園・保育所・認定こども園と合同で研修会を実施した小学校の割合	73.8% (R1年度)	80% (R3年度)	○
学校・家庭・地域の連携・協働体制の整備	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加している学校の割合	小61.7% (全国64.6%) 中36.7% (全国38.2%) (R1年度)	全国平均以上 (R3年度)	○
家庭の教育力の向上	「“新”家庭教育宣言」を実施した小・中学校の割合	99.8% (R1年度)	100% (毎年度)	○
	「家庭教育支援チーム」を活用して学習会等を実施した市町村の割合	100% (R1年度)	100% (R1年度)	◎
県立学校におけるICT環境の整備	普通教室におけるICT環境整備率	無線LAN 38.3% (R1年度)	100% (R3年度)	○
		大型提示装置 38.6% (R1年度)	100% (R4年度)	○
交通安全教育の推進	交通安全教室（高等学校は二輪車安全教室を含む。）を実施している学校の割合	小 学 校 100% 中 学 校 100% 高等学校 100% (R1年度)	小 学 校 100% 中 学 校 100% 高等学校 100% (毎年度)	◎
防災教育の推進	地震に関する避難訓練の実施率	小 学 校 100% 中 学 校 100% 高等学校100% (R1年度)	小 学 校 100% 中 学 校 100% 高等学校 100% (毎年度)	◎
スクールソーシャルワーカーの配置	スクールソーシャルワーカー配置中学校区数の割合	98.5% (R1年度)	100% (R2年度)	○
教職員の超過勤務の縮減	県立学校における教職員の超過勤務時間数縮減の割合（H30年度基準）	H30→R1 (1月～3月の平均値) 20.1%減 (H30:35.3h→R1:28.2h)	20% (R2年度)	○
科学技術系人材の育成	高校生科学技術コンテストの受験者数	769人 (R1年度)	1,200人 (毎年度)	△
	科学の甲子園ジュニア（中学生対象）の参加チーム数	181チーム (R1年度)	150チーム (毎年度)	◎
農業人材の育成	農業関係学科からの就職者のうち農業関連分野への就職率（県立高等学校）	32.5% (R1年度)	47.0% (R1年度)	△
	農業関係学科からの上級学校進学者のうち農業関係学科への進学率（県立高等学校）	31.3% (R1年度)	27.0% (R1年度)	◎
特別支援教育体制の整備	公立の幼稚園、認定こども園、小・中・高等学校において、特別な支援が必要であると考えられる幼児児童生徒に対する①個別の指導計画及び②個別の教育支援計画の作成の割合	① 99.1% ② 97.9% (R1年度)	① 100% ② 100% (R3年度)	○
キャリア体験活動の実施	県立高等学校における職業や進路研究等に関する体験活動への参加率	96.5% (R1年度)	100% (R3年度)	○
就職意欲の向上	県立知的障がい特別支援学校高等部における就職希望率	43.6% (R1年度)	50% (R3年度)	△

指 標	指 標 の 概 要	現 状 値	目 標 値	達 成 状 況
高校生の海外留学の啓発	留学説明会の参加者数	191人 (R1年度)	200人 (R3年度)	○
生徒の英語力	CEFR A1レベル相当以上（英検3級程度以上）の資格又は相当する力を有する中学校生徒の割合	46.9% (R1年度)	50% (R3年度)	○
	CEFR A2レベル相当以上（英検準2級程度以上）の資格又は相当する力を有する県立高等学校生徒の割合	48.5% (R1年度)	50% (R3年度)	○
社会教育に関する学習情報提供の充実	「ふくおか社会教育ネットワーク」へのアクセス件数	477,650件 (R1年度)	300,000件 (毎年度)	◎
県立社会教育施設の利用	県立社会教育施設の利用者数（社会教育総合センター、英彦山青年の家、少年自然の家「玄海の家」）	181,019人 (R1年度)	223,000人 (毎年度)	△
県立図書館の利用	県立図書館の図書貸出冊数	394,087冊 (R1年度)	460,000冊 (毎年度)	△
	県立図書館の図書貸出利用者数	149,589人 (R1年度)	171,000人 (毎年度)	△
青少年科学館の利用	青少年科学館の入館者数	310,842人 (R1年度)	318,700人 (毎年度)	△
県立美術館の利用	県立美術館の入館者数	179,387人 (R1年度)	160,000人 (毎年度)	◎
文化部活動の推進	芸術・文化系の部活動に参加している県立高等学校生徒の割合	23.7% (R1年度)	23% (毎年度)	◎
九州歴史資料館の利用	九州歴史資料館の入館者数	31,500人 (R1年度)	35,000人 (R3年度)	○
旧福岡県公会堂貴賓館の利用	旧福岡県公会堂貴賓館の入館者数	20,525人 (R1年度)	23,000人 (毎年度)	△
競技スポーツの振興	国民体育大会における男女総合成績順位	11位 (R1年度)	8位 (毎年度)	○
女性アスリートの育成	国民体育大会における女子総合成績順位	10位 (R1年度)	8位 (毎年度)	○
人権教育の推進	人権教育推進の中核となる指導者養成研修を修了した教員の累計人数	439人 (R1年度)	424人 (R1年度)	◎

<達成状況集計>

◎	計	15
○		22
△		11
▲		0
※ 点検・評価における達成状況		48